

クラブ大会試合結果一覧

部活動Report
2023年11月~2024年3月

女子バスケットボール部

- 11月 ALL AICHI2023
第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会 第3位
- 12月 第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会 (Softbank ウインターカップ 2023) 【東京都】 2回戦出場
- 2月 新人戦県大会 準優勝
新人戦東海大会 ベスト8

男子バスケットボール部

- 11月 第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会 第3位
- 1月 令和5年度愛知県高等学校新人体育大会西三河支部予選 準優勝
- 2月 令和5年度愛知県高等学校新人体育大会愛知県大会 第6位

ハンドボール部

- 11月 新人戦西三河予選 準優勝
- 12月 新人戦県大会 出場
- 1月 全三河高等学校ハンドボール一年生大会 優勝
第62回三河東西対抗総合ハンドボール選手権大会 高校女子2部 優勝

陸上競技部

- 11月 第35回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
女子 3位入賞
2年 火山華 (六ツ美)・3年 田中小萩 (西尾)
3年 大畑夢依里 (朝日)・3年 坂田朋花 (平坂)
3年 太田美晴 (六ツ美北)
令和5年度東海高等学校対校駅伝競走大会【静岡県】
女子 7位入賞
2年 火山華 (六ツ美)・3年 坂田朋花 (平坂)
3年 田中小萩 (西尾)・3年 大畑夢依里 (朝日)
3年 太田美晴 (六ツ美北)
- 1月 皇后盃 第42回全国女子駅伝【京都府】
2年 火山華 (六ツ美) 愛知県代表選手 5区

卓球部

- 11月 第63回東海卓球選手権大会【一宮市】
3年 嶋崎真琳 (高岡)・齋藤のぞみ (幸田南部)
2年 新實佳乃 (桜井)・坂本一華 (大塚)・北川世菜 (矢作北)
永見優 (幡豆)・小田沙奈 (吉良)・原田姫梨 (安城南)
森下由麻 (南陽)・金子夢果 (前林)・名倉愛翔 (安城北)
岡本ももか (朝日)・杉山ころこ (明祥)
- 1年 水野由南子 (知立)・倉内心菜 (平坂中)
岩瀬由奈 (幸田南部)・小山菜捺美 (吉良)
清水優花 (西尾)・庭村若菜 (安城北)・榊原未菜 (一色)
長谷川亜未 (矢作北)
- 新人戦県大会 団体4位
- 12月 新人戦東海大会大会【三重県】 出場
- 1月 全国高等学校選抜卓球選手権大会愛知県個人予選
2年 坂本一華 (大塚) 予選通過
- 3月 令和5年度 第51回全国高等学校選抜卓球大会【山形県】
2年 坂本一華 (大塚) 出場予定

バレーボール部

- 11月 全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県大会 ベスト8
- 12月 西三河高等学校バレーボール選手権大会 第3位
- 1月 新人戦西三河予選 第4位

バドミントン部

- 11月 第76回中部日本バドミントン選手権大会【石川県】
男子2年 久湊脩斗 (桜田) ベスト32

ダンス部

- 1月 USA School&College Nationals 2024 関西大会
高校編成 HipHop 部門【大阪府】
2年生チーム 1位 全国決勝大会進出
1年生チーム 2位 全国決勝大会進出
- 2月 マイナビ High School Dance Competition West
審査員特別賞 (ビジュアル部門)
- 3月 USA School&College Nationals 2024 全国大会
高校編成 HipHop 部門【千葉県】
2年生チーム・1年生チーム 出場予定

硬式テニス部男子

- 11月 西三河テニス選手権 (団体の部)

硬式テニス部女子

- 11月 西三河テニス選手権 (団体の部) 2位

アーチェリー部

- 11月 愛知県高等学校新人体育大会アーチェリー競技
2年 原天音 (鶴城)
1年 山田陽彩 (東山)
- 1月 第15回東海高等学校インドア・アーチェリー大会 兼
Winter Cup2024 第16回
高等学校ネットワークアーチェリーインドア大会【静岡県】
3年 松原雅怜 (安城南)・加藤七海 (安城北)
1年 山田陽彩 (東山)

吹奏楽部

- 11月 第36回全日本マーチングコンテスト【大阪府】
高等学校以上の部 銅賞
- 1月 愛知県アンサンブルコンテスト西三河南支部大会
打楽器八重奏 金賞・代表
金管八重奏 金賞・代表
クラリネット八重奏 金賞・代表
- 愛知県アンサンブルコンテスト
打楽器八重奏 金賞・代表
金管八重奏 金賞・代表
クラリネット八重奏 金賞
- 2月 第50回東海アンサンブルコンテスト【愛知県】
金管八重奏 金賞
打楽器八重奏 銀賞

弦楽部

- 11月 第12回日本学校合奏コンクール 2023
全国大会グランドコンテスト【千葉県】 銀賞

合唱部

- 1月 第30回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 銀賞

箏曲部

- 1月 日本音楽部門第38回発表会 (県大会) 「奨励賞」

美術部

- 1月 第38回高文連美術・工芸専門部「西三河」支部展出品

放送部

- 1月 第39回 愛知県高校放送コンテスト新人大会
アナウンス部門入選

Anjo Gakuen Highschool Newsletter 彩雲 Ayagumo

2024
vol.131
発行日 / 2月15日

卒業生への メッセージ



朝のリレー

谷川 俊太郎

カムチャツカの若者が	ぼくらは朝をリレーするのだ
きりんの夢を見ているとき	経度から経度へと
メキシコの娘は	そうしていわば交替で地球を守る
朝もやの中でバスを待っている	眠る前のひととき耳をすますと
ニューヨークの少女が	どこか遠くて目覚時計のベルが鳴っている
ほほえみながら寝がえりをうつとき	それはあなたの送った朝を
ローマの少年は	誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ
柱頭を染める朝陽にウイングする	
この地球では	
いつもどこかで朝がはじまっている	

大海の一滴 ～想像力の射程を広げて～

今年、2024年は大きな自然災害とともに始まりました。元旦の夕方発生した最大震度7の地震は、石川県能登半島を中心に甚大な被害をもたらしています。以前の日常を取り戻すための道のりはまだ見えてきません。避難生活の長期化が懸念されています。本校生徒会は当面できることは何かを考え1月11日・12日の2日間、学内と安城駅で募金活動を行いました。住む場所を失い、厳しい寒さの中で不自由な生活を余儀なくされている人たちに思いを馳せ、今回の震災を「明日は我が身ではなく、今日の我が身」としてとらえていかなければなりません。

貧しい人々の為に一生を捧げたマザーテレサが「貧しい人はたくさんいる。もっと大きな運動や政治を動かすことが必要ではないか。」という問いに対して「わたしたちのすることは、大海のたった一滴の水にすぎないかもしれません。でも、その一滴の水があつまって大きな海となるのです。」と答えています。小さな行動が寄せ集まり、それが大きな変化につながるという意味です。

人間一人一人のできることは限られています。しかし、大きな海をつくる一滴になることは間違いありません。自分の身近にいる人々から、社会や世界の中で困難な時代を生きている人々に想像力の射程を広げ、自分にできる「大海の一滴」は何かを考え行動することが求められています。



安城学園高等学校
校長 佐藤 順

2024年1月26日 本館6階から見た日の出

Contents

- 2 巻頭言
- 3 卒業生へのメッセージ
- 4 響き合うまちと学校
- 5 震災募金活動報告
- 6 国際交流
- 7-9 学校行事
- 10 生徒会活動報告 教科セミナー
- 11-15 部活動レポート

卒業生・保護者の皆様へ

学年主任より3年間を振り返るとともに感謝のメッセージ

「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ奮闘の3年間



3年学年主任 石田 桂

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様が立派に成長され高等学校卒業という日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

皆さんが入学した時は「ウィズコロナ」であり、感染予防をしながらも、どう学校生活を回復していくか、アイデアが求められる時期でした。生徒の健康と授業を守るため、入学した1学期間の昼食は感染予防のため黙食を行い各自の席で前を向いて食べていましたね。FCフレッシュチャレンジャーとして名前を変え校内で開催したのも皆さんが初めてです。またiPadを導入したのも皆さんからでした。1年生の時には体育祭も合唱コンクールも中止となり、球技大会は声を出しての応援は禁止でした。世界では衝撃的なことが2月24日に起きました。ロシアがウクライナに侵攻したのです。その際にヨーロッパの歴史や文化を学び、学年の仲間が1つになって世界平和を祈りピースマークの一文を作ったことも思い出深いです。

2年生になり、3月の修学旅行をどうするのか話が進められましたが、時代はまさにコロナ感染が広がりを見せ、私たちの身近に迫り、学級閉鎖も起きている時でした。海外のシンガポールは中止を決め代わりに東北コースを新設しました。東日本大震災3.11その日に行けるからです。未来の修学旅行の計画を進めつつも、目の前の現実には感染者が増大している苦しい時、当時の校長であった関神一先生から「石田さん、修学旅行は絶対にやりなさい。生徒たちの一生の思い出だから」という言葉に導かれ、考えられる全ての予測を行い、新たに看護師を帯同させるなど対策をとりました。安城学園高校にとって4年ぶりの修学旅行再開を目前に控えた12月、関校長の突然の訃報連絡は大きな支えを失い不安を抱きましたが、関校長の教師としての思いを受け止め修学旅行を決行しました。修学旅行中、感染者も大きなけがもなく、平和学習や地域文化の学びを深め楽しんで無事に帰ってこられたことは、関校長の遺志を受け継いで、生徒と先生、保護者みんなが1つになって教育を行う安城学園らしさであったと大きな達成感を抱くとともに、関校長に感謝の気持ちをもって報告できました。

3年生になり、世の中は「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換していきました。卒業生の皆さんが最学年として躍動する部活動、自主活動、学園祭、体育祭、創作活動発表会など、活躍する姿に感動する日々でした。球技大会では1年生の時に

は応援禁止のため思わず声が出て注意を受けた時が嘘のように、3年生では熱い試合で体育館が割れんばかりの歓声に歓喜、3年生3学期のクラスレクではケーキ作りに鍋パーティーで笑顔が溢れ「そろそろ！これだよ安城学園の高校生活！」と、ようやく皆さんが青春を謳歌できることに喜びを感じました。

私は皆さんの夢や目標を聞くのが好きでした。「私は看護師になりたいです」「僕は消防士になります」「将来は美容系の仕事に就きたいな」「学校の先生になりたい」「警察学校に受かりました」など、皆さんはどんな時にも明るく前向きで、コロナで突然奪われた青春の中でも希望を失わず夢を語るキラキラした姿に、「ウィズコロナ」対策に奮闘する私にずっと勇気を与え続けてくれました。

私は入学した皆さんに【自律】自分で考えて自身をコントロールできる生徒に育ってほしいと願いを伝えました。1年生では自律のために『自分を知る』。2年生では自律のために『他者を思い共感力を養う』。3年生では自律のために『行動に責任をもって自分を信じる』。高校を卒業し社会に羽ばたき、応援される人から、愛される人になるように育ってほしいと願いを込め3年間で体得できるよう促してきました。

皆さんの学年は安城学園高校においても「初めて」や「リスタート」が多く、挑戦した学年でした。皆さん自身もこの3年間の中でも、幾多の困難に出会い仲間や先生方ご家族とともに乗り越えてきました。これからの人生でも多くの「初めて」に出会い、戸惑い、不安を抱くことでしょう。それでも「やってみよう」という少しの勇気で挑戦し、挑戦したからわかった知識で改善し乗り越えていってください。

「笑う門には福来る」皆さんがこれからの人生も笑顔で過ごせることを祈り、願っています。

生徒の皆さん・保護者の皆さんに出会いたくさんの困難と一緒に乗り越え、感動や喜び、達成感を味わうことができました。多くの生徒が集まる学年集会もできず、保護者との集いもできず、それでも皆さんとどうすれば関わりを持ち繋げることができるのか、私が3年間努力したことはスタディサプリやClassroomを使用して学校が配慮している方針、生徒の活躍の様子、先生方が懸命に努力される様子を発信することで理解を得られるようにすることででした。3年間ご理解ご協力ありがとうございました。出会えた奇跡に感謝しております。

ANJO GAKUEN
響き合う
まちと学校

吹奏楽部

碧南親子ふれ合いコンサート 2023年12月9日 碧南市民会館

3年10組 荒木 匠人(新川)

12月9日(土)に碧南市民会館で行われた「碧南親子ふれ合いコンサート」に出演させて頂きました。碧南市内全ての小学生、中学生、高校生の演奏を聴く事が出来、私たち吹奏楽部にとって大きな経験となりました。私も碧南市民として、この活動をとても誇りに思います。この経験を活かしてこれからの活動も頑張っていきたいと思えます。



吹奏楽フェスティバル 2023年12月17日 安城市民会館サルビアホール



3年10組 永山 萌乃(犬山南部)

12月17日(日)に安城市民会館サルビアホールで行われた「西三河南地区高等学校吹奏楽フェスティバル」に参加させて頂きました。12月は依頼演奏も多くあり、大変な中ではありましたが、今年の安城学園の良さが溢れるととてもいい演奏が出来ました。聴いてくださる方にも音楽の楽しさが伝わったのではないかと思います。それぞれの学校の演奏を聴き合い、新たな発見もあり、素晴らしい吹奏楽フェスティバルになりました。

弦楽部

第29回定期演奏会

2024年2月10日 マツパホール

定期演奏会に向けて

3年2組 羽田 和奏(知立南)



1年前の定期演奏会の日、私たちは先輩たちからバトンを受け取り「自分たちの代」が始まりました。今年度はコロナ禍で自粛されていたものがたくさん復活し、地域交流コンサート、東日本と愛知をつなぐ東北演奏旅行、安城音楽のある1日など、多くの演奏の機会に恵まれました。コロナ禍で入学した私たちにとっては1.2年の時経験できなかった初めての体験が多く、初体験でありながら最高学年として後輩たちを引っ張らなければならない不安との戦いでした。ですが、後輩、同級生、先生方、家族、そして関係者の方々に支えられて数々の舞台を成功に収めることができました。全国大会にも出場し、銀賞という結果も残すことができました。

今回の定期演奏会はその私たちの1年間のストーリーが詰まっています。そして3年生にとっては部活動最後の集大成の演奏会です。多くの人への感謝を込めながら、私たちにしかできない音楽を最後に楽しみたいと思えます。皆様ぜひお越しください。

合唱部

合唱部定期演奏会

2023年12月25日 コロナネット

お客さん一人一人に音楽を届けたい

2年3組 黒岩 あかり(安城北)

今回の定期演奏会は、傘を使った演出を取り入れて曲の世界観を伝えられるようにしたり、ダンスをしながら歌曲を多く取り入れたりして、来てくださるお客さんに楽しんでもらえるよう工夫しました。今年から、ホールの制限がなくなったため、客席に降りて歌うことが可能となり、お客さんの近くで歌うこともできました。ステージで歌うよりも近くにお客さんがいることで、聞いてくださる方に歌を届けたいという気持ちがより強くなりました。部員一人ひとりが練習を大事にし、全員で演奏会を作りあげていきました。これからも聴いてくださる方々に、私たちらしい合唱で笑顔をお届けできるように活動していきます。



能登半島地震 義援金募金



まだ見ぬ誰かのために

生徒会書記 1年10組 鈴木 直寛(美川)

元日に発生した能登半島地震において、現在も被害が拡大し、避難生活を余儀なくされている方々がいる中、安城学園では緊急募金活動を行いました。卓球部やインターアクト・ボランティア部、各学年代表者会議をはじめとする多くの生徒たちと協力し、学校内、そしてJR安城駅にて募金活動を実施しました。多くの方にご協力をいただき、支援の輪を広げていきました。

被害が現在も広がっており避難生活を余儀なくされる方々がいることを踏まえ、私たちは今後も支援を続けていく決意です。私たちが一体となってこの事態に立ち向かい、助け合いの精神で力を合わせていきます。これからも地域と一体となり、被災地の方々に寄り添いながら、必要な支援を届けていきたいと考えています。

生徒会主任 山盛 洋介

お正月気分を吹き飛ばした、新年早々の大地震。「生徒会として何かやりたい」と、生徒会長から相談があったのは、地震発生の40分後でした。現地の状況が報道されるたび、その深刻さに胸を痛めながら、「まずは義援金だ」と、3学期早々に大々的な募金の取り組みを展開することができました。

JR安城駅での街頭募金では、たまたま金沢から仕事で来られたという方が通りかかり、生徒たちに丁寧に挨拶をされていました。市民の方々も「何か力になりたい」という思いがあったことでしょうか。次々と募金箱の前で立ち止まり、ご協力いただくことができました。

安城学園では、学校法人全体で「命を学ぶプロジェクト」に取り組み、東日本大震災で被害を受けた東北とつながりながら、学びを深めてきました。今後、能登を訪れることも検討しています。「いま、自分たちにできることは何か」を考えながら、これからも取り組みを続けていこうと考えています。





国際交流



ラトビア留学生とグアテマラ留学生を受け入れて

国際交流主任 国分 涉悟



今年度より、私たち国際交流は新しい取り組みを始めました。留学生を受け入れる前から本校の生徒と毎週土曜日に日本語によるオンライン交流をする『留学生橋渡しプログラム』です。(左図はその様子です)

このプログラムのおかげで、2024年1月15日より本校に通うグアテマラ留学生「リセさん」は留学が始まる10ヶ月前から本校の生徒と話す機会を得られたので、すぐに学校に馴染むことができました。また本校の生徒にとってもあまり馴染みのない国の女の子と、異なる言葉や文化、考え方の違いなどに触れることができ、よい経験になったようです。

来年度もフィンランドからの留学生が本校で学ぶことが決まっています。私たち安城学園の国際交流はさまざまな国からの留学生を受け入れ、本校の生徒とたくさん交流できる場を多く設定しています。来年度も楽しみです！

リセのおかげで学べたこと

学び探究部 部長 2年1組 中野 那菜(碧南東)

私にとってグアテマラという国は遠い存在でした。国のこと自体あまり知りませんでした。リセに出会えたことで、今まで自分が考えたこともない世界観に触れ、英語とは違う言語を学ぶ意欲も得られ、私の方が多くのことを学ばせてもらいました。

授業でSDGs(持続可能な開発目標)について考える時間が多くあります。私はSDGsの中でも「目標4. 質の高い教育をみんなに」に着目して探究活動をしています。世界の社会問題が身近に感じられるようになり、私の人生でも特別な1年になりました。

国際協力の形はさまざまあると思いますが、今回のリセとの交流から、私にもできることはあるんだと思うようになりました。オンライン上で交流していたリセが今学校で私たちと一緒に過ごしている。そのことが不思議で、同時にとても幸せです。



英検合格者

2023年度 第1回と第2回英検の結果報告

(合格者数 / 受験者数)

第1回

英検1級 …… (1/1名合格)
準1級 …… (3/15名合格)
2級 …… (16/46名合格)
準2級 …… (34/65名合格)
3級 …… (48/70名合格)

第2回

英検1級 …… (1/6名合格)
準1級 …… (7/17名合格)
2級 …… (15/39名合格)
準2級 …… (13/28名合格)
3級 …… (6/8名合格)

安城学園高校のこだわり



毎年、英検の上位級(準1級や1級)の合格者が増えてきています。本校英語科教員の指導経験が増えてきていることもその理由の一つですが、上位級合格者増の一番の要因は生徒同士が切磋琢磨する土壌ができてきていることだと考えられます。2級に受かった生徒は、先輩や同学年の生徒に触発されて、準1級へ挑戦します。生徒たちは現状に満足することなく、次へ次へと学習を発展しつづけているようになってきています。来年度以降も楽しみで仕方ありません。

学校行事

球技大会

大会成績

【男子】優勝: 商3年2組 / 準優勝: 3年6組 / 3位: 3年7組、3年9組
【女子】優勝: 3年10組 / 準優勝: 3年9組 / 3位: 3年7組、3年8組

男子優勝クラス

商業科3年2組 元廣 魁翔(東山)

僕たちは夏から練習を始めており、球技大会にける思いはどのクラスよりも大きかったと今でも思っています。優勝候補だと言われていたため、絶対に負けられないという気持ちがありとても緊張していました。しかし、試合を重ねる中で緊張もなくなり、「もっと試合がしたい」と思うようになっていきました。C2のどのクラスよりも団結した応援のおかげで雰囲気よくなり、自分たちらしいプレーをすることができました。

決勝で最後の1点が決まり試合が終わった瞬間にクラスみんなが集まり輪になって喜んでいる姿は、正真正銘クラスが1つになっていると感じ、心の底からとてもいいクラスだと思えることができました。

C2組だからこそこれだけ楽しむことができ、優勝することができたと思います。3年生最後にして最高の思い出になりました。



女子優勝クラス

3年10組 西村 夏姫(六ッ美)



高校生活最後の球技大会、みんなの気合いの入りようは尋常じゃなく、絶対優勝しようね!と、体育の時間から練習を重ねてきました。個人的に練習している子も多く、みんなが球技大会に対して熱い思いで望んでいるのが伝わってきて嬉しかったです!

迎えた本番当日、男女お互いの試合を身を乗り出して応援し、励まし合い、一緒に喜んで一緒に高め合いました!点を取った時に自分の事のように喜んでくれるクラスメイトと一緒に球技大会が迎えられて本当に私は幸せ者だなと感じました。

そして、女子は優勝、男子は惜しくも負けてしまいましたが、なによりも絆が深まりみんなで高め合った球技大会を私は一生忘れないと思います。10組のみんな素敵な思い出をありがとう!

Winter Concert

オーケストラ選択

3年3組 長澤 こもも(犬山)



私は、こども教育芸術コースの選択科目で、3年間オーケストラを選択していました。半数以上が初心者だったため、1年生の頃は合奏どころか、楽器の音をならすことで精一杯だった人も少なくはありませんでした。私達の学年は1年生の頃から多くのクラシックに触れて来ましたが、3年生の集大成であるウィンターコンサートでは、『ダッタン人の踊り』を演奏させて頂きました。毎週2時間しかない限られた練習時間の中で、プロの演奏を聞いたり、合奏の中で感じたことをお互いに言い合ったりなど、自分たちなりにこの曲と真剣に向き合い、私達の学年にしか出来ない、3年間で1番の演奏が出来たと感じています。この経験を今後の音楽生活に生かしていきたいと考えています。

合唱選択

3年2組 神谷 灯里(依佐美)

私達合唱選択では、合唱曲は勿論、童謡やJ-popなど様々な曲を、発声や表現などを工夫しながら取り組んできました。私は、3年間合唱選択に取り組んできて、普段関わる機会の少ない様々な個性を持つ子達とだからこそ、合唱というジャンルで心一つに取り組む楽しさや協調性を学ぶことができました。ウィンターコンサートでは、初めはとても緊張していましたが、仲間の支えと声援のおかげで、練習した成果を出し切り、聞いていた友人や両親にも「感動した」と言ってもらえることが出来ました。この経験を通して、私は多くの仲間と一つの目標に向かって努力する事の大切さを再確認し、たくさんの価値観が組み合わさった時に生まれるハーモニーの力強さを体得することが出来ました。この経験を卒業後も大切に、今後に生かしていきたいと思っています。



針供養



針供養

商業科3年1組 高原 姫愛(半田)

針供養と言う行事があることすら知らなかった私は、感銘を受けると同時にとても大事な行事だということがわかりました。裁縫において、大事な役割を担う針がなければ、布を縫うことはできません。その大事な針が折れてしまったり、曲がってしまったら処分するしかありません。昔の人は、針に感謝の気持ちを込めて供養していたと思います。針を大切にすると言う事は今も変わりません。裁縫だけに限らず、スポーツや趣味など道具がなければできないので、大切に扱いたいです。

また、友人と一緒に作品などを作り上げていくことも大事なことだと感じました。振り返ってみると2年生でのエプロン作りは、友人と協力しながら作り上げました。3年生の創作活動では、裁縫が得意でない私ですが、手芸を選択し、友人と話し合いながら自分なりの作品を完成させることができました。これらの経験から、道具と友人に感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生を歩んでいきたいです。

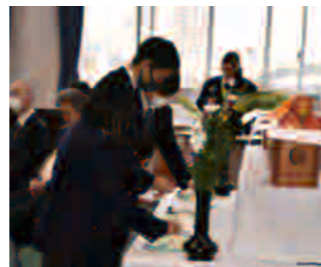
新たな挑戦への一歩

3年1組 宮城 かずみ(碧南東)

私は数多くある選択肢から洋裁を選択しました。洋裁選択の動機はお世話になった先輩が洋裁を選択していたため、自身も彼女のように自分ならではの個性溢れる作品を1から作り表現したいと考え、選択しました。3年生に進級し、すぐに本格的に作業に入り、色・デザイン・布を選ぶことから始めました。裁縫は、授業以外で取り組むことがなかったため、十分な知識と経験がなく、不安を抱きながらでの挑戦でした。毎週金曜日の放課後には、遅くまで、友人達と懸命に取り組み、疑問に思ったことを教え合うなどの協力をし、先生からのご指導もたくさんいただきました。このように、たくさんの方の力を借りた課程を通じて、全員がドレスを完成させることができました。その後の創作活動発表会では、全員が、自身ならではの個性が表現されており、どの作品を見ても、一つ一つ違う魅力を感じるとともに、世界に1つだけの自身のドレスが宝物になりました。これらの経験を踏まえ、自身の継続力の向上とともに挑戦することの大切さを学びました。

私は安城学園高等学校での生活の中でたくさんの経験を得て、自身でも大きな成長遂げたと実感しています。卒業後の進路では、将来の夢である客室乗務員になることをここで宣言し、大学4年間で更なる成長遂げ続け、社会で活躍する人材になれるよう努めます。たくさんの挑戦への機会を与えてくださった、家族・友人・先生方に感謝申し上げます。

最後に、たくさんの方に、新たな挑戦への一歩を踏み出してほしいと願っています。



弁論大会

弁論大会

商業科2年2組 坂本 一華(大塚)

私は文章を書くことがあまり得意ではありませんでした。だから自分の思いが聞いている人の心に響くように伝えることはとても難しく、勇気のいるものでした。発表の後は泣いている子もいて、「すごく感動した」と言われ、発表ができたことに喜びを感じました。他の人の新しい一面や、頑張ったこと、辛かったことなど、どれも感動する話で、自分だけでなく、他の人のこともよく知ることができたすごく良い機会になりました。



- 最優秀賞 商2年2組 坂本 一華(大塚) 「私が頑張る理由」
- 優秀賞 2年7組 竹内 羽琉(三谷) 「突然の別れ」
- 優秀賞 2年10組 本多 未季(幸田) 「失敗を笑いに」
- 特別賞 2年2組 成瀬 こころ(大塚) 「突然」

第36次創作ミュージカル

第36次創作ミュージカル 「夜明けのスタートライン～da Castagno～」

第36次 創作ミュージカル実行委員長 2年11組 小松 望愛(依佐美)

1学期から創作委員会を立ち上げ、12月にキャスト・スタッフからなる実行委員会の活動がスタートしました。2月の卒業フェスティバルで3年生の皆さんに、4月の新入生歓迎会・一般公演では、新入生や在校生・保護者・市民の皆さんに見ていただくため、練習や作業を頑張っています。高さ7m、幅13mの巨大な背景画(書き割り)も完成しました。ミュージカルを通して、「幸せな未来」とは何かを考えるきっかけになれば、と思っています。ぜひ4月の一般公演に、皆さんでお越しください。お待ちしております。



【第36次創作ミュージカル 「夜明けのスタートライン～da Castagno～」 一般公演】
2024年4月13日(土) 13:30 開場 14:00 開演
会場：安城市民会館サルビアホール 入場無料

2023年度 創作活動発表会

弦楽演奏

3年4組 都築 唯(知多)

初めてのことだし不安ばかりで最初は何をすればいいかとか何もわからなかったけど、活動していく上でどんどん自分が成長できているのを感じ嬉しかったです。今回初めてのことに挑戦してみても楽しかったから、これからもどんどん新しいことに挑戦していきたいです。

美術陶芸

3年5組 安田 晴香(安城南)

初めての陶芸で、最初は上手いかなかったけど、だんだん形を作るのに慣れてきたり、自分が作りたいと思っていたものも作れるようになり本当に楽しかったし良い経験になったと思いました。今回の陶芸で、やったことがないことでも挑戦してみても良かったなと思いました。また自分で作った作品に愛着が湧き、大切にしたいと思います。

映像制作

3年7組 上松 楽(西尾)

映像制作を1年間続けてきて「人の目を惹く表現」を多く知りました。数秒の出来事での工夫が映像をさらに良くしていることに気づき、これからの日常生活では映像に隠された工夫や特殊な表現に注目していきたいです。

洋裁

3年4組 遠山 颯希(六ツ美北)

物事を完遂する力が付きました。当日は緊張してうまく立ち回れないこともありましたが集大成として良いステージをお届けできたかと思います。これからも針への感謝を忘れずお裁縫をしたいと思っています。

茶華

3年9組 田中 小萩(西尾)

おしとやかに、女の子らしくなれるようにと思ってこの講座を選びました。選んだ理由通り、心を落ち着かせて、お茶を飲むことが出来ました。お花は、自分のセンスが試されたけど、毎回先生がみんなの分の花をなおしてくれて、立派な生け花が出来ました。お茶菓子は、練り切りと、いちご大福がいちばん美味しかったです。この1年間で、常識のある人になれたと思います。これでお嫁に行けない不安要素がひとつ減りました。

幼児と体育・遊戯

3年4組 太田 帆奈(刈谷南)

ダンスの方は、最初は知らない人がいる中で、やっていけるのか不安でした。ですが、声をかけたり、自分たちでふりを考えたりして、仲良く行うことができました。自分はダンスが苦手だったけど子供達でも簡単に踊れるように大きく動くことを目標に頑張ることができました。絵本は、最初真っ白な状態からのスタートで、どんな絵本にするか想像がつかなく不安でした。ですが、調べたりして子供たちに読んでわかりやすいように簡単な言葉、様々な色などを使って世界に一つだけの絵本を作り上げることができました。

子どもと社会

3年2組 後藤 利実咲(知立南)

この1年間、子どもと社会の創活を通し、まだ自分が知らない情報やニュースを改めてたくさん学ぶことができました。発表の内容も含めて学んだことは、今生きていることが決して当たり前ではないということです。ここで生きてこれていることは、本当に奇跡だとこの創活で深く感じることができました。学んだことを生かし、自分の一度きりの人生に役立てたいです。

旅と鉄道

3年3組 安藤 月(碧南東)

普段だと体験できないことを経験できて凄く楽しかった。みんなと旅したりニア鉄道館に行ったり卒業前に楽しい思い出が沢山増えて、旅鉄を選んで良かったと思いました。発表会は直接見れなくて残念だったけど、石田先生が配信してくれたのを見て、みんなの1年間の頑張りをみる事ができました。なんかもう本当に創活めっちゃくちゃ楽しかったです。

Let's Enjoy English and Movies!!

3年1組 近藤 紗弥可(桜井)

この講座は基本的に1組の生徒が多いけど、共通の趣味である映画を題材にディスカッションすることで他のクラスの子とも話すことができとても楽しかったです。またたくさんの人と話すことで価値観の違いを考えたり自分の視野を広げることができました。発表会では映画を紹介する動画を作りましたが、見てくれる人をどう楽しませようか考えるのがとても楽しかったです。そして英語日本語を混ぜてMCを務めてくれた子達がいてとても楽しかったです。今後もこういった共通の趣味を持った子に積極的に話していきたいです。

筆ペン

商業科3年1組 中元 颯南(安祥)

筆ペンを選択したことにより、少しだけですが字が上達したと感じます。普段何気なく書いている字も2時間集中して取り組んだことにより、達成感を味わうことができました。字を綺麗に書いているだけでも印象はだいぶ変わるので、日頃から丁寧に書く心がけをしていこうと思いました。また、ご祝儀袋にも筆ペンで書きましたが、大人になってから必ずと言っていいほど必要なものを高校生のうちに書くことができとてもよかったです感じました。今後も今回の活動を踏まえていき、丁寧に字を書く努力をしていきたいです。

模型製作～ウェザリング編～

3年8組 兼松 朱音(安城西)

初めてプラモデルに触れたのが今回の創作活動で、正直組み立てることだけがプラモデルだと思っていたので、色々な事が新鮮でした。特に、汚し作業といった着色作業後にさらにある作業は作品を一層良いものにするのでとてもたのしかったです。今年が最後になると聞いて寂しいですがこういった普通に生活しているだけでは触れることのなかったものにもっと挑戦していきたいと思いました。

絵本の読み聞かせ

商業科3年1組 松下 芳(東海)

初めどのように絵本を読めばいいのか分からなかったが、講師の方や先生から本の持ち方や、話し方を教えてもらい、楽しく本の読み聞かせを行うことができた。幼稚園に読み聞かせをした際に園児の子が楽しそうに聞いてくれたので嬉しかった。練習をこれまでしてきたおかげで、落ち着いて読むことができた。緊張したが楽しく発表することができたと思う。私は将来図書館司書になりたいと思っているので、創作活動のことを思い出しながら子供達に読み聞かせしたい。また、この活動を通して、多くの素晴らしい絵本にも出会い自分の世界を広げることができたと思います。



生徒会活動報告

後期生徒会メンバー紹介



2023年度後期生徒会は「FULL」という方針のもと日々の活動を行っています。クラブの応援やペットボトルキャップ回収の取り組み、校則改善に向けた運動に力を入れています。また、街頭での愛知私学奨学資金財団・一億円募金活動や私学助成の拡充を求める署名活動、能登半島地震の義援金募金などを通して、地域とつながる活動も行っています。

このように後期生徒会では全校生徒とともにさまざまな活動を行っています。今後は、第36次創作ミュージカル、卒業フェスティバル、新入生歓迎会の成功に向けて取り組んでいきます。今後とも、生徒会活動へのご協力をよろしくお願いします。

会 長	2年	松田 瞬也	(桜井)	会 計	1年	伊牟田よしき	(蒲郡中部)
副会長	2年	中川 涼花	(安祥)	会 計	1年	大谷 穰太郎	(朝日)
書記	1年	鈴木 直寛	(美川)	渉 外	1年	前田 祐杏	(富士松)
書記	2年	神谷 麻生	(額田)	渉 外	2年	田 中 結	(安城西)

部活動 Report

2023年10月~2024年2月

陸上競技部

全国入賞! 【特別国民体育大会6位!】

3年8組 山田 真央(御幸山)

今回の鹿児島国体は、コロナにより3年越しの開催となった特別大会です。桜島が試合前日に大規模噴火で大歓迎し、視界を遮る火山灰との戦いにもなりましたが、その自然の環境も受け入れ楽しく競技できました。私にとって陸上人生最後の試合がこの国体の舞台となり、中学の恩師、高校の顧問2人の前で会心の一撃を投げる事ができ、全国入賞できたことは先生方に恩返しすることができたと感じました。ここまで頑張ってきたのも今まで支えあって切磋琢磨してきた仲間や指導して下さる先生方、そして応援して下さった家族やたくさんの方々のおかげです。感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。私はこの国体出場をもって陸上を引退し自分が競技するということはありませんでしたが、これからは私たちの後輩たちの成長を手助けするような形で携わりたいと思っています。



全国入賞! 【第17回 U18陸上競技大会3位!】

2年7組 木下 みなみ(平坂)

10月に愛媛県で行われたU18全国大会で砲丸投3位に入賞できました。私にとって昨年に続き2回目の全国大会だったので、前回大会7位よりも上の順位をつかみ取ると決めて試合に臨んでいました。当日の試合展開はとて良、1本目から全国入賞を決定づける位置につけ、動きを修正しながら2本目3本目で自己ベストを更新し、順位を上げ、最終投擲は5位の順位から大幅自己ベストのビッグスローで会場がどよめき3位入賞!メダル獲得まで駆け上がることができました。ワクワクした気持ちで自分が努力してきたことを信じ、最終投擲に挑めたことが良かったと思います。この結果が得られたのは沢山の方々が応援して下さいのおかげです。ありがとうございました。今後も3年生の夏、福岡インターハイに向けて努力を惜しまず頑張ります。



東海入賞! 【東海高等学校対校駅伝競走大会7位!】

1年4組 大畑 夢依里(朝日)

私は安城学園で駅伝に出場することを目標に入学しました。憧れていた先輩方と襷を繋ぎ走ることができ、東海入賞という結果を残せてとても嬉しいです。東海高校駅伝では4区を任せられ「今まで頑張ってきた成果を出したい」「少しでもチームに貢献できるような走りをしたい」という気持ちで襷の重みを感じて走り、アンカーの3年生の先輩に襷を渡しました。「自分の全力を出し切ることが出来てよかった」と思える走りでした。駅伝はただ1人で走るのではなくチーム全員の思いを背負って走る競技です。今年は愛知県大会3位で都大路へ行くことが出来ず悔しい思いをしましたが、これからも都大路を目標に4月から入学してくる新しい仲間とさらに強いチームを作れるよう努力していきます。引き続き応援よろしくお願いします。



全国力走! 【皇后盃 第42回全国都道府県 対抗女子駅伝競走大会】

2年10組 火山 華(六ツ美)

愛知県チームの一員として5区を走らせていただきました。小さい頃からずっと憧れていたこの大会で走ることができ、夢のようです。愛知県チームの目標の8位入賞には届きませんでしたが、個人では3つ順位を上げることができ、次につながる走りができたと思います。この大会でたくさんの刺激をもらい、もっと強くなりたいと思いました。今後、3年生の目標はインターハイで入賞することなのでこの大会での経験を活かし、より一層努力します。今大会、現地の京都やテレビで応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。



東海入賞! 【東海高等学校新人大会8位入賞!】

2年6組 北岡 知也(高浜)

ハンマー投げで東海8位入賞することができました。1年前は県新人に27cm足りず西三河新人どまりだった自分の現状を知り悔しい思いをし「来年は絶対に東海新人大会で入賞する」という強い覚悟をもって1年間練習をしました。東海新人の舞台はレベルが高く自分はランキング外。緊迫した空気の中でしたが「自分が自己ベストを出すのみ、やってきたことを信じるのみ」と集中し投げに挑んでいました。自己ベストで8位入賞できた瞬間は、嬉しさよりもホッとした気持ちの方が大きく、多くの方から「おめでとう!」の言葉をもらい嬉しさに変わるとともに応援されていたことに気づき感謝の気持ちがわきました。3年生ではインターハイ出場を目標にするとともに、自分の投げで見る人が歓喜するように一本一本、感謝の気持ちを込めて投げてきます。



教科セミナー報告 Workshop Report

2年8組 鈴木 沙彩(吉良)

今回はじめて日本史セミナーに参加しました。あまり歴史に興味がありませんでした。しかし、実際に足を運んで見て学び、とても楽しむことができました。特に関ヶ原古戦場記念館が記憶に残っています。今まで関ヶ原の戦いに関心を持ったことはありませんでしたが、そこでのシアターが面白く、もっと知りたいと思いました。

日本史 セミナー

3年4組 遠山 颯希(六ツ美北)

私は昨年の日本史セミナーに参加し、勉強になることが多かったため、今年も参加させて頂きました。日本史セミナーは普段の授業とは違った環境で歴史に触れることができます。実際に肌で感じながら体験することができるため、座学とはまた違った楽しみがあり、私にとって日本史セミナーは学びへの新たなアプローチの1つとなりました。



女子バスケットボール部

全てを乗り越えた仲間



写真提供：日本バスケットボール協会

3年7組 西田 美咲(郡山第三)

昨年、2回戦敗退という悔しい思いをし、今年こそはと思ってバスケットボールに取り組んできました。結果は昨年と同様に2回戦敗退という、思い描いていた結果通りとはいきませんでした。それ以上にこの3年間は自分たちにとってかけがえのない時間でした。つらいこと、苦しいこと全てを乗り越えて自分たちは成長しました。毎日一緒にバスケットボールをしてくれた仲間、ずっと近くで支えてくださった先生方、遠くにいても一番に応援して下さった保護者の皆様、そしてたくさんの応援をくれた学校のみんな。本当にありがとうございました。2年生も目標に向かって一生懸命頑張りますので応援よろしくをお願いします。

男子サッカー一部

命を学ぶプロジェクト

2年6組 近藤 有真(吉良)

今年は大川小学校に行きました。そこでご自身も娘さんを亡くされた当時中学校の先生だった佐藤さんからお話を聞きました。佐藤さんは、「防災はハッピーエンドを迎えるために行うものだ」とおっしゃっていました。僕は今まで「防災」という言葉を深く考えてきませんでした。「防災」と言われて思うことは学校の防災訓練です。これは、「逃げるためのルートを確認し、本番に備えること」ぐらいに考えていました。しかし、佐藤さんの話を聞いてそれではダメだと気付かされました。防災はハッピーエンドを迎えるために本番で起こりうる全ての可能性を考えて、災害が起こる前に生き残る準備をすることだと教えて頂きました。普段僕たちは、校内放送をきいて避難訓練をします。実際の時は、放送機器は壊れて使えないことが多いそうです。そうなったら、きっと自分たちは焦って正常な判断が出来なくなると思いました。そのようなことが起こらないように訓練が必要だと感じました。僕の家は南海トラフ地震で津波が来ると予想される地域です。家族を守るためにも、避難方法や集合場所の確認をして、ハッピーエンドが迎えられるように備えたいです。



女子サッカー一部

エキシビジョンマッチ出場決定

2年11組 坂口 蓬(葵)

JFAフェスティバル エキシビジョンマッチU18女子サッカーリーグ2023選抜選手対抗戦に私と梶川真鈴が選出されました。初対面の人との交流や自分のサッカー技術に関して不安な気持ちがあります。しかし、普段の練習の中で培ってきた基礎の部分やこだわりを重ねて練習してきたロングボールのパスなどを生かして、チームのために頑張りたいです。また、初対面の人とのプレーの中で、コミュニケーションを自分から広げていき、どれだけ自分自身を發揮できるか試したいです。そして安城学園高校女子サッカー部がこれからも飛躍できるように、そこで多くのことを学んでいきたいです。



一緒にプレーした3年生へ

2年6組 梶川 真鈴(碧南中央)

10月28日の愛知県高等学校女子サッカー選手権を最後に、3年生は引退となりました。およそ二年間一緒にプレーしてきた3年生には、色々なところで支えてもらいました。日頃の練習で上手くいかなかった時には、自分のところまで来て声をかけてくださったり、時には厳しい口調で喝を入れてくださりました。そして、全ての大会でベスト4以内という結果で、私たち後輩に刺激を与えてくれました。サッカー以外の面でも気軽に話しかけてもらい、3年生と話す時間は私にとってとても幸せなモノでした。

一つ上の先輩が18期生で良かったと心の底から思います。これまでさまざまな面で私たちを支えてくださり、ありがとうございました。3年生にいい報告が出来るよう、私たちも頑張っていきます。



男子バスケットボール部

「挑戦」し続けた3年間

商業科3年1組 栗本 愛生(知多東部)

僕たちの学年は下級生の頃から試合に出場する選手が多く、今年の全国大会にける思いは強かったです。また今年から声出し応援も解禁され、チーム一丸となって戦うことができ、西三河新人戦することができ良いスタートができました。しかし、県大会で直前に部内でインフルエンザが蔓延してしまい、大会当日は部員の半数以上がいけない状態で5位という結果で終わってしまいました。この悔しい経験を糧に、日々の練習に励みインターハイ予選とウインターカップ予選では3位入賞、東海大会では5年ぶりにベスト8という結果を残すことができました。この結果は日々熱心に指導して下さった先生やコーチ、陰で支えてくれた後輩達、そして朝早くから夜遅くまでバスケットボールに集中できる環境を作ってくれた保護者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。これからも男子バスケットボール部の応援をよろしくをお願いします。



卓球部

東海大会出場では満足しない

商業科2年2組 永見 優(幡豆)

卓球部は、西三河大会で優勝、県大会で4位になり東海大会に出場することができました。結果は惜しくもリーグ敗退となりましたが、この悔しさを胸に学年別大会、最後の大会であるインターハイ予選で悔いの残らないように、支えてくださる方々に感謝の心を持ち日々の練習に励んでいます。3月に山形県で行われる、全国選抜卓球大会に商業2年2組の坂本一華が出場します。これからも卓球部の応援をよろしくをお願いします。



USA Regionals2024
全国大会出場決定



商業科2年1組 杉田 琴音(鶴城)

1月に参加したUSA Regionals 関西大会で全国大会への出場を獲得することができました。大会に向けて、自分たちで1から構成や振り付けを考え、全国大会出場を目標に、何度も練習を重ねてきました。本番では今まで自分たちが練習してきた成果を出すことができ、楽しんで踊ることができました。目標にしていた全国大会出場ができ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

全国大会入賞を目標に、これからの練習も頑張っていきたいと思います。これからもダンス部の応援をよろしくお願いたします。

愛知県高文連
第38回日本音楽部門発表会
(県大会) 出演

2年5組 宮嶋 謠(前林)



先輩がない初めての県大会で、1、2年生だけで出来るか不安だったけれど、この1年間の練習の成果が出せたと思うので良かったです。特に、審査員の方の講評に「細かい神経の行き届いた強弱の変化が美しく、心地良い演奏でした。みなさんが自分のパートを大事に、じっくりみながら弾いているように感じられて楽しかったです。」というコメントもいただき、今後の練習の励みになりました。また機会があれば出演したいと思います。

合同自主公演で学んだこと

2年10組 高木 陽詩(新川)

1月に愛知県のダンス部18校が安城に集まり、合同自主公演を行いました。昨年までは、感染症対策のため、複数の学校と一緒に作品をつくる合同エンディングを行うことができませんでした。しかし、今年から再開され、他校のダンス部と合同練習をし、1つの作品をつくることができ、他校との交流をすることができました。

安城学園の発表では、大会の作品を披露し、最後には1、2年生全員で1つの作品を作り上げました。他校のダンス部の作品を見て、私たちにないものをたくさん発見することができました。これからも学んだことを活かしてダンス部全員で成長できるよう頑張っていきます。次は、3月からある全国大会や夏の大会に向けてより高みを目指し、日々練習を頑張っていきます。これからもダンス部の応援をよろしくお願いたします。



愛知県アンサンブルコンテスト金賞受賞!!

3年7組 松本 隼(安祥)

1月18日(日)に瀬戸市文化センターで行われた愛知県アンサンブルコンテストにおいて、金管八重奏、打楽器八重奏、クラリネット八重奏が金賞を受賞しました。そのうち金管八重奏と打楽器八重奏が2月11日(日)に幸田町民会館で行われる東海アンサンブルコンテストの愛知県代表として推薦して頂きました。活動を通して、仲間と共に1つの目標に向かって努力することの難しさを感じつつも、一つずつ乗り越えることの大切さを学ぶことが出来ました。今後も東海大会に向けて大切な仲間と共に一丸となって取り組みたいと思いますので、応援よろしくお願いたします。



定期演奏会を終えて

3年10組 山本 和夏菜(豊川東部)

2月12日に安城市民会館で第72回定期演奏会を行いました。前日まで東海アンサンブルコンテストもあり、全員揃っての練習時間が少ない中でしたが、私たち3年生の集大成が最大限に発揮された最高の演奏会となりました。1100席もの客席がお客様で埋め尽くされ、満席で開催出来た事も、部の目標である「皆さまに愛される音楽活動」を達成することが出来たと感じています。ご来場頂いたお客様、応援を頂いた皆様、支えてくれた先生や家族に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



南明治八幡社へ大絵馬奉納 ~招福祈願~

3年3組 加古 千尋(大府北) 3年3組 瀬川 花愛(篠目)
3年4組 近藤 鈴夏(大塚) 3年4組 内山 うた(安城北)



美術部ではPTA会長の松原さんを通じて、すぐおとなりの神社である南明治八幡社さんから新年初詣にあわせ奉納するための大絵馬制作をご依頼いただきました。2m弱の大型の板柱に、辰年らしく龍を中心に全ての構成を自分たちで考えて制作しました。制作期間は第4回定期試験後から冬休みまでの短期間でしたが、皆で協力して完成させ神社の宮司さんや安城市のみなさんに大変喜んでもらうことが出来ました。私たちはこれまで部員が好みに描いた作品を学内外で展示してきました。ご覧いただきありがとうございました。進路はそれぞれですがこれからも好きな美術で何かと社会のために頑張ります。